

広

報

ふじみ衛生組合

Tel. 042(482)5497 ホームページ <http://www.fujimieiseikumiai.jp>

No.17

2011年(平成23年)3月15日

■編集・発行

ふじみ衛生組合

■所在地

〒182-0012

調布市深大寺東町7-50-30

■組織市

三鷹市／調布市

新ごみ処理施設建設工事の進捗状況をお知らせします。

新ごみ処理施設の建設工事は、平成22年11月に、ごみピット部分を含む、建物全体の地下部分の周囲地盤の崩壊や土砂の流出を防止するための山留工事を開始、12月から本格的に掘削工事に入り、本年2月に終了しました。今後は、建物工事の地下部分より工事を進め、5月ごろには地上部分の工事に入る予定です。

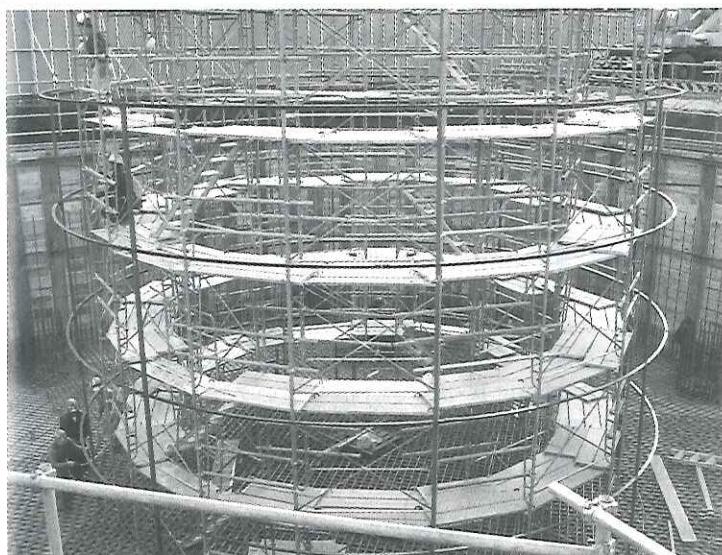
また煙突についても、掘削工事が終了し、現在、基礎工事を行っており、本年4月中旬ごろから煙突の地上部分の工事に入る予定です。

これからも、引き続き、ご迷惑をかけないよう工事を進めてまいりますので、市民の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

建設工事全景



煙突基礎工事の様子



騒音・振動計

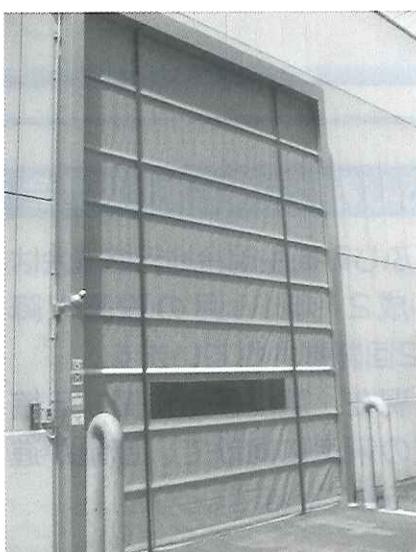


モニターテレビ



●騒音・振動計とモニターテレビを設置しています。

- 騒音・振動計は毎日測定（連続測定）しています。（西側入口付近に設置）
- モニターテレビで工事現場の様子を映しています。（南西角に設置）



臭気対策用シートシャッター

資源化施設の臭気対策について

平成22年9月に、リサイクルセンター中央棟プラットホーム出入口2箇所に高速で開閉するシートシャッターを設置しました。

これは臭気対策の一環として、臭気の流出を極力押えるために実施いたしました。

今後も、更なる臭気対策を継続的に実施してまいります。

容器包装リサイクル協会からの拠出金収入について

容器包装リサイクル法に基づき、当組合で処理を行い搬出したプラスチック等の資源物が、良質との評価を受け、容器包装リサイクル協会から、「再商品化合理化拠出金」の一部として2億1千6百万円余の配分を受けました。

このことは、当組合の選別努力はもとより、三鷹市・調布市、両市の市民の皆様のごみ分別へのご協力のたまものです。感謝申し上げます。

今後も、引き続きごみ分別と減量へのご協力をお願いします。

平成21年度ふじみ衛生組合決算のあらまし

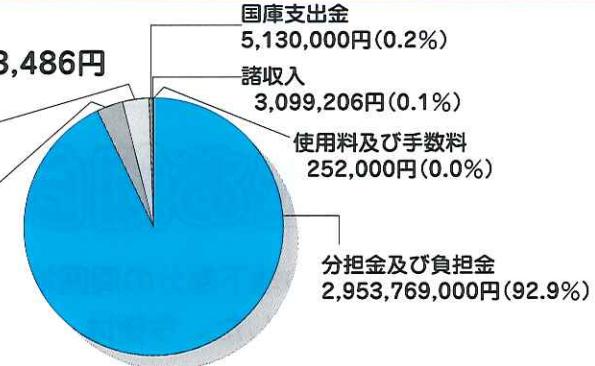
平成21年度決算は、平成22年11月18日開会された平成22年第4回ふじみ衛生組合議会定例会において認定されました。決算額と搬入実績についてお知らせします。

●歳入歳出決算額

○歳入 3,178,663,486円

財産収入
107,988,663円(3.4%)

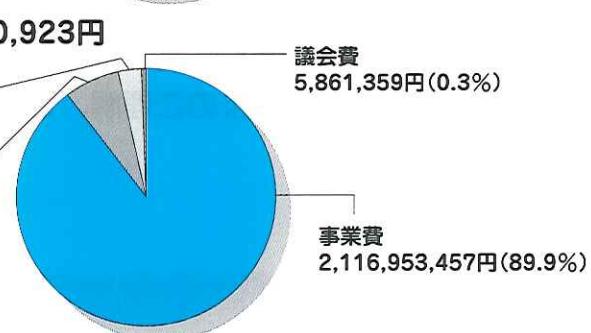
継越金
108,424,617円(3.4%)



○歳出 2,353,610,923円

総務費
67,590,861円(2.9%)

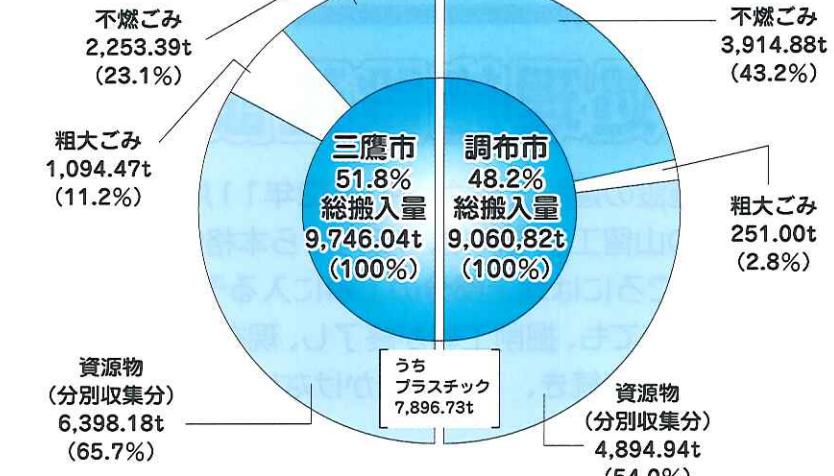
公債費
163,205,246円(6.9%)



○歳入歳出差引残額 825,052,563円

●搬入実績(稼動日数260日)

○市別搬入実績



○総搬入実績(三鷹市・調布市の合計)

総搬入量 18,806.86t(100%)

不燃ごみ 6,168.27t(32.8%)

粗大ごみ 1,345.47t(7.2%)

資源物(分別収集分) 11,293.12t(60.0%)

平成21年度のごみ搬入量は18,806.86tで、前年度より53.77t (0.29%) の減でした。

両市の内訳では、三鷹市分は9,746.04tで、前年度より38.27t (0.39%) の増、調布市分は、9,060.82tで前年度より92.04t (1.01%) の減です。

平成23年度予算のあらまし

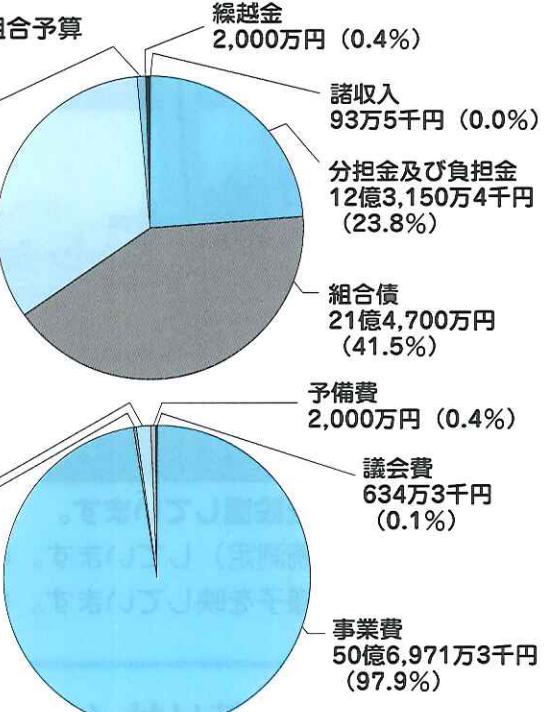
平成23年度予算は、平成23年2月23日開会された平成23年第1回ふじみ衛生組合議会定例会において可決成立しましたので、予算額についてお知らせします。

●平成23年度ふじみ衛生組合予算

○歳入 51億7,858万2千円

財産収入
5,426万5千円 (1.0%)

国庫支出金
17億2,487万8千円
(33.3%)



○歳出 51億7,858万2千円

総務費
7,032万9千円
(1.4%)

公債費
1,219万7千円
(0.2%)

平成23年度予算は、歳入・歳出それぞれの総額が51億7,858万2千円で、前年度比31億2,873万1千円(152.6%)の増となりました。

予算の概要は、次のとおりです。

歳入 (収入) で主なものは、「組合債」が最も多く、全体の41.5%を占めています。この「組合債」は、新ごみ処理施設整備のため、長期の借入資金をもって財源とするものです。次に「国庫支出金」が33.3%で、こちらも新ごみ処理施設整備のため、国からの「循環型社会形成推進交付金」をもって財源とするものです。次に、「分担金及び負担金」が23.8%です。この「分担金及び負担金」は、組合を組織する三鷹市と調布市が、組合の運営経費を負担しているもので、ごみ搬入量の割合や平成22年4月1日現在の人口の割合に基づいて分担しているものです。また、「財産収入」が1.0%で、組合に搬入された資源ごみ等からアルミ・鉄等の再生品原料を分別し、民間企業等に売却し収入としています。

歳出 (支出) で主なものは、「事業費」で全体の97.9%を占めています。内訳としては、新ごみ処理施設の建設に要する経費(工事費等)及びリサイクルセンターの管理運営(ごみ処理業務委託料、各種設備整備工事費、業務用電気料等運営費、消耗品費、管理費等)に必要な経費です。

ふじみ新ごみ処理施設整備市民検討会

平成23年1月に、第2期(H20年11月からH22年11月まで)の報告書が正副管理者に提出されました。そのなかで、白煙防止装置については、「設置しないことが『地球温暖化防止に貢献する』」「『経済的に優れている』」との意見が提言され、新ごみ処理施設には設置しないことにしました。

*白煙防止装置とは、煙突から出る水蒸気が白い煙のように見えることを防ぐための装置です。



ふじみ衛生組合地元協議会

- ふじみ衛生組合地元協議会は、平成21年11月の設置以降12回開催されています。
- 現在、環境保全に関する協定の策定に向けて、協議が進められています。